



平成22年3月23日

各 位

会社名 東急建設株式会社  
代表者名 取締役社長 市川正美  
(コード番号 1720 東証第1部)  
問合せ先 経営企画部長 仁田英夫  
(TEL 03-5466-5016)

### 中期経営計画の一部見直しについて

当社は、2010年度を最終年度とする中期経営計画（2008-2010年度）のもと、企業価値の最大化を図るべく、本業である建設事業の収益基盤の確立、周辺事業分野の育成、経営基盤の強化に取り組み、東急沿線大型プロジェクトの受注や工事利益率の改善など、一定の成果を上げてまいりました。

しかしながら、現在の建設市場は現計画策定時の想定水準から著しく縮小し、今後の急速な回復も考えにくい状況にあります。

このような状況下、経営環境の変化に対応し、収益力の更なる強化と財務基盤の再構築を図るために、現中期経営計画の一部について見直すことといたしました。

今後とも、基本方針である『価値創造のベストパートナーへ』のもと、施策・戦略を着実に遂行し、計画達成に向け邁進して行く所存です。

記

### 【中期経営計画見直しの概要】

項目	現中期経営計画	見直し後
計画期間	2008年度～2010年度（3カ年）	2008年度～2011年度（4カ年）
基本方針	「価値創造のベストパートナーへ」	変更なし
基本戦略	①真の競争力強化と強固な収益基盤の確立 ②成長分野への積極的投資と将来に向けた礎づくり ③永続的に企業が存続するための経営基盤強化	実施内容は踏襲 但し、一部に追加施策を織り込む
目標指標	2010年度目標 ① 連結営業利益 84億円 ② 連結ROA (EBITDA/総資産) 4.1%	2011年度目標 ① 連結営業利益 40億円以上

## 【追加施策の概要】

基本戦略①「真の競争力強化と強固な収益基盤の確立」

- (1) 注力顧客へのアプローチ強化
- (2) 新規顧客開拓の積極化
- (3) 海外事業の育成・強化
- (4) 安全・品質管理の一層の充実
- (5) 間接コストの削減と業務効率化の推進

基本戦略②「成長分野への積極投資と将来に向けた礎づくり」

- (1) 経営環境に見合った不動産開発事業の取組み見直し  
(年間投資額 現計画200億円水準から30億円水準に見直し)
- (2) 環境・防災関連ニーズへの対応強化

基本戦略③「永続的に企業が存続するための経営基盤強化」

- (1) 効率的資産運用の観点からの保有資産の見直し
- (2) 内部留保の積み増しを重視した配当方針の見直し検討

## 【計画数値】

■連結経営数値（2008年度－2011年度）

（単位：億円）

項 目	2008年度 実績	2009年度 予想	2010年度 計画	2011年度 計画
売 上 高	2,595	2,410	2,598	2,321
営 業 利 益	49	41	38	41
経 常 利 益	46	34	29	34

（参考）単体受注高（2008年度－2011年度）

（単位：億円）

項 目	2008年度 実績	2009年度 予想	2010年度 計画	2011年度 計画
受 注 高	2,769	2,100	2,100	2,100

上記の数値は、本資料の作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想値とは異なる可能性があります。

以 上